



気象情報

気象情報の種類と説明

大雨	注意報	大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	特別警報	大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する予報
洪水	注意報	洪水により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
土砂災害警戒情報		大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報
記録的短時間大雨情報		数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

こんなときは、注意

台風



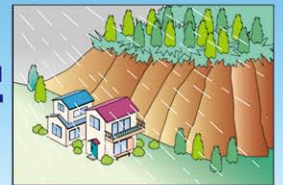
日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

集中豪雨







集中豪雨は、短期間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりがよくなる起ります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難。中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予想されます。がけ付近や造成地などは気象情報に十分注意し万全の対策を取るようにしましょう。

土砂災害



鹿嶋市には53箇所の急傾斜地危険崩壊箇所があります。これらの地域は他風や集中豪雨・地震によって大きな被害を被ることが考えられますので、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域をハザードマップで確認し、地域ぐるみで十分な注意をしましょう。

雨の強さと降り方

1時間の雨量(mm)	予報用語	雨の降り方、災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降り、話し声がよく聞こえない。地面に水たまりができる。 
20~30	強い雨	どしゃ降り。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。 
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。がけ崩れが起きやすくなり、都市では下水管から雨水があふれる。 
50~80	非常に激しい雨	滝のように降り、マンホールから水が噴出する。 
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大規模な災害が発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要。 